

単元名: 韓国の若者の消費行動を調べる

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年／年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	買い物	言語レベル	4	必要時間数	12時間

I 単元目標

「韓国の若者」の消費行動について、新聞や雑誌、テレビやインターネットなどを通じて事前調査をしたことや、Skypeによる姉妹校生徒のインタビューをまとめて、研究発表することができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
◆姉妹校の生徒たちにインタビューをすることができる。 ◆オンライン上および紙上で意見を集めるための、アンケートを作成することができる。 ◆新聞・雑誌の記事を理解し、必要な情報を収集することができる。 ◆世界韓国語学習者大会で研究発表することができる。	◆オンラインショッピングの利用の仕方について、日本との異同を理解することができる。 ◆自分が韓国に生活したと仮定し、韓国事情を考慮しながら韓国での生活についてイメージをすることができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。	◆経済的、技術的進歩によって、消費行動も変わることについて知ることができる。(知識理解) ◆グループで協力してSkypeを使い、直接インタビューしたり、韓国のテレビの番組からデータを集めたり、オンラインでアンケート調査を実施することができる。(協働、情報活用) ◆韓国の若者の消費行動についてデータ収集後、クラスでそれを分析し、韓国の若者の傾向を探り出すことができる。(高度思考、情報活用) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

コミュニケーション能力指標	【買い物】 4-a. インターネットやカタログなどで商品を比較検討し、どれを購入すべきか決めて注文できる。 4-b. 購入した商品についてクレームをつけ、返品・交換を(手紙などで)依頼できる。 4-d. 若者の消費行動などについてのテレビ報道を見たり、新聞や雑誌を読んだりして、レポートにまとめることができる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している
---------------	--

Ⅲ 学習活動と評価

プレコミュニケーション活動（語彙・表現習得活動）	学習を助けるための評価（形成的評価）
◆いろいろな商品について、自分がオンラインショップの注文で成功した、あるいは失敗した経験を述べ合い、それを韓国語でどう表現したらいいか、グループで調べる。【4-b】 ◆オンラインショップでの記入シートに記入してみる。【4-a】 ◆実際の商品リストを見ながら、グループで購入候補の商品をリストアップする。【4-a】 ★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標	◆韓国のテレビの番組からデータを集める。（必要な情報の取捨選択など） ◆関連する新聞・雑誌の記事を集める。（必要な情報の取捨選択など） ◆オンラインでアンケート調査を作り、韓国の姉妹校の生徒の消費行動を調べる。（交渉力、表現の正確さなど）

コミュニケーション活動（学習シナリオ）

<場面状況>

K高校の韓国語クラスの生徒たちが世界韓国語学習者大会で研究発表することになった。今年のテーマは「韓国の若者」である。クラスで話し合い、韓国の若者の消費行動について調べ、発表することにする。

<活動の流れ>

韓国のテレビの番組からデータを集めるグループ、関連する新聞・雑誌の記事を集めるグループ、オンラインでアンケート調査を作り、韓国の姉妹校の生徒の消費行動を調べるグループなどに分かれ、発表のためのデータを集める。データが集まったらクラスでそれを分析、韓国の若者の傾向を探り出す。Skypeを使い、姉妹校の生徒たちに直接インタビューし、自分たちの出した結論について尋ねる。実際どれくらいオンラインで買い物をしているか、オンライン・ショッピングに満足しているか、届いたものが自分の考えているものと違った時にはどのようにするのか、オンライン・ショッピングとデパートなどでの買い物のよしあしなどについて質問する。

大会の限られた時間内でどのように韓国の若者の消費行動について自分たちが発見したこと、それに対する考えを発表するかクラスで話し合い、構成、パワーポイントの作成、配布資料などを考える。グループに分かれ、パワーポイント、配付資料を準備する。

発表当日は会場で資料を配付するとともに、アンケート調査を配り、自分たちの発表の内容を評価してもらう。発表終了後は発表で使ったパワーポイントに音声をつけ、配布資料、会場からのアンケート調査とともに学校のウェブサイトアップロードし、姉妹校の生徒たちに見てもらい、意見を聞く。

ヒント

- ◆世界韓国語学習者大会のような口頭発表の場がなければ、ウェブサイトでのビデオのアップロードのみ。
- ◆韓国の若者だけでなく、日本の若者の消費行動も調べ、日韓の若者の消費に対する考えの類似点、相違点を調べる。

<目標達成度を測る全体的評価（総括的評価）>

- ◆学習者大会で研究結果を発表する。（伝えようとする姿勢、内容的確さ・わかりやすさ、表現の正確さなど）
- ◆研究結果をウェブサイトアップロードする。（内容的確さ・わかりやすさ、表現の正確さなど）

<使用教材・教具>

PC、Skypeカメラ、韓国の新聞、雑誌

教室外（人・モノ・情報）との連繋

姉妹校、韓国のインターネットサイト、世界韓国語学習者大会

他教科の内容との連繋